

自分ごとと考え、地震に備えましょう！

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震により、各地で甚大な人的・物的被害が発生しています。

田辺市でも南海トラフを震源とする地震が懸念されています。地震を含む自然災害は、もはや他人事ではありません。

大きな災害が発生すると行政などからの支援には時間がかかる場合があります。そのため、被害をできるだけ少なくするために、**自分を守る「自助」と地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」がとても重要**となってきます。

- 避難バッグや備蓄品の準備
- 避難場所や避難経路の確認
- 自宅内や自宅周辺の安全確保
- ご家族同士の安否確認方法



など事前の「自助」は十分にできていますか。

地震はいつ起こるかわかりません。

自分や大切な人を守るために、各自で災害が起こる前に準備しておきましょう。

稲成公民館の利用に際して(お願い)

田辺市稲成公民館では、社会教育法、田辺市公民館条例、田辺市公民館等管理運営規則に基づき、地域の皆様方の学びと交流を促進し、**人づくり・地域づくりにつながる生涯学習活動の場として公民館施設の貸し出しを行っています。**お気軽にご利用ください。

※利用を希望される場合は、事前に**必ず下記の公民館事務局までお問合せください。**

※公民館は田辺市教育委員会が管理している施設のため、**町内会の役員の皆様方に問合せをしないようお願いいたします。**

○問合せ 稲成公民館 事務局 Tel 26-4925



令和6年3月号 公民館だより

稲成

未来へつなぐ道
田辺市

発行：稲成公民館
館長：倉谷 修治 主事：津田 祐司
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号
市民総合センター内

TEL：26-4925 FAX：25-6029

田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

稲成公民館区 人口及び世帯数 令和6年1月末現在

人口3,208人 世帯数1,509世帯 男性1,512人 女性1,696人



さあ～ 夢に向かってGo！ 稲成公民館長 倉谷 修治

柔らかな春の日差しに冬ごもりをしていた者たちもゆっくりと動き出し、桜のつぼみも膨らみ始めましたね。さあ～！縮こまっていた心も体も大きく深呼吸。

今月、小・中学校でも卒業式があります。稲成小学校では27名、高雄中学校では143名の卒業生たちがそれぞれの学び舎を巣立っていきます。

卒業される児童、生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの人生は始まったばかりです。今まで以上に大変なこと、苦しいこと、悩むこともあるかもしれませんが、けれども、息苦しかったコロナ禍を経験された皆さんです。きっと乗り越えられることでしょう。

そして、朝日の昇らない日はないことを心にとめておいてください。皆さん自身の人生は一度きりです。やりたいことを思いっきり！

アメリカの有名な発明家であるトーマス エジソンは、「私は失敗したことがない。ただ一万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ。」と名言を残しています。

皆さんも失敗を恐れずにそれぞれの夢と目標に向かって進んでほしいと思います。

さて、話は変わって親の教育の必要性を訴える若者がいることに、喜びと驚きを感じた記事を見つけましたので、紙面をお借りしてご紹介をさせていただきます。1月26日付の産経新聞に「第40回 土光杯 全日本青年弁論大会（行政改革の実行には若い力が必要との呼びかけがきっかけで始まった弁論大会）」で受賞された方々の弁論要旨が掲載されていました。

今年のテーマは、「日本の目指すべき道」でした。このテーマに対して、5人の若者がそれぞれの賞に輝いておりました。日本語の大切さ、これからの時代を生き残るための経済の立て直しの急務、SNS依存をなくし一人ひとりが自分らしく生きる世の中の構築、堂々と自国の意見を主張できるよう防衛力強化に取り組む必要性等をそれぞれ主張されている中で、私は優秀賞とフジテレビ杯に輝いた中央大学の学生さんの弁論に共感いたしました。

「子供は社会からの預かりもの」と祖父から言われて育てられた彼女は、子供たちの公共の場での振る舞いとそれを注意しない親の対応に、今後の日本の社会に危惧を覚えたとのことでした。このことがきっかけとなり、日本の社会がなぜこのようになってしまったのだろうかという疑問から、子供たちが社会のルールを習得する方法を探る中で、原因の一つに核家族化、地域コミュニティの衰退により、社会のルールを教わる場面が減少しているからではないかと考えたそうです。そこで彼女は、子供たちが社会のルールを身につけていくためには、まずその根幹である「家庭内での教育」が重要であり、親への社会性・道徳に関する教育の実施が必要でないかと提案されていました。まさしくそのとおりではないかと思った次第です。

最後に、今月末には「令和6年 動鳴気峡桜まつり」を開催する予定にしております。

昨年と同じく福引抽選会、餅まき、各種ステージイベントを行う予定にしております。

皆さま、是非ご来場くださいまようようお願い申し上げます。

粥占いを取材してきました(伊作田稲荷神社)

2月24日(土)、伊作田稲荷神社で「粥占い神事」が行われました。

粥占いは、農作物や水産物などの121品目の豊凶を占うもので、昭和53年10月13日に田辺市の無形民俗文化財に指定されている伝統行事となっています。

境内では、関係者が白米1升と小豆2合、水8升を大きな釜で煮て小豆粥を作り、その中に10センチ程度の農作物や水産物の番号が書かれた竹の筒を小豆粥の中に入れて、二つ折りの大きな竹箸でかき混ぜながらしばらく煮続けた後、竹の筒を釜から取り出して二つに割り、筒の中に入っている粥の量から「上」、「中」、「下」の3段階で豊凶を判断します。

この日の粥占いでは、当地域の特産物であり、世界農業遺産でもある梅は、南高梅が、古城梅、小梅とともに「中」との結果となり、梅以外にも米や野菜、ミカンなどの柑橘類や魚類、花などの豊凶が占われました。

当日は、参拝者や写真愛好家の皆さんが境内を訪れ、訪れた皆さんには、小豆粥がふるまわれました。

粥占いは、各種の作物の豊凶を占うため全国各地の神社で行われており、和歌山県内においても和歌山市の伊太祁曽神社、橋本市の隅田八幡宮、日高川町の寒川神社、上富田町の地主神社でも行われています。

なお、伊作田稲荷神社の粥占いはいつごろから行われているかは分かっていませんが、昭和8年(1933年)に粥占いの結果を書き写した記録が残っているとのこと。

【参考文献 「田辺市の指定文化財」】



小豆粥の準備



竹筒を釜に入れてかき混ぜています



釜から取り出した竹筒を小刀で割っています



竹筒を品目別に並べていきます



121品目の占いの結果



最後には餅まきが行われました

令和6年 動鳴気峡桜まつり

2月16日(金)に動鳴気峡桜まつり実行委員会を開催し、下記のとおり開催することとなりました。皆様方のご来場を心からお待ちしております。

◆日時 令和6年3月31日(日) 10時~16時

◆会場 動鳴気峡
(各種イベントは、ステージ周辺で行います)

◆ステージイベント

- ・高雄中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏
- ・子どもジャンケン大会
- ・Hula Kapili (フラダンス)
- ・GROW (各種ダンス等)
- ・福引大会 (※抽選受付 10時~)
- ・もちまき



◆地元団体による出店・販売(NPO法人 絆様ほか)

【ライトアップ】 令和6年3月23日(土)~4月7日(日) 18時~22時
※桜の開花状況により、期間が変更する場合があります。

【問合せ】動鳴気峡桜まつり実行委員会事務局(田辺市観光振興課内) 電話 26-9929

河川の整備作業を行いました(稲成町内会)

稲成町内会では、2月25日(日)午前8時から稲成川、荒光川(いずれも両岸)及び左会津川右岸の雑草の草刈りなどの整備作業を行いました。

雨の中での作業となりましたが、事故もなく無事に終了しきれいな河川敷となりました。

ご参加いただきました地域の皆様方に厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

※写真は下村区の皆さんの作業の様子です。

